

平成19年度の輸送実績（速報）

平成20年4月

1. 輸送概況

平成19年度は、7月から9月にかけて3度にわたる台風の上陸による影響のほか、年間を通して大雨、強風による輸送障害が各地で発生した。とくに、7月16日に発生した新潟県中越沖地震による線路災害では、信越線柿崎駅～柏崎駅間が9月13日に開通するまで、59日間にわたり不通となった。この間、東海道・東北線経由となる迂回列車の運転及び利用運送事業者と連携した不通区間でのトラックによる代行輸送等を実施し、輸送力の確保に最大限努めたが、大きな影響を残した。これらにより、**高速貨2,281本（前年比976本増）、専貨99本（前年比35本減）**が運休となった。

コンテナ貨物は、モーダルシフトの動きが加速する中、年間を通して自動車部品、民間流通米及び北海道地区の野菜類の出荷が堅調に推移したものの、輸送障害の影響を大きく受け、全体では**前年比101.0%**にとどまった。

車扱貨物は、石油が燃料転換の進展等により、重油を中心に大きく減送となり、全体では**前年比95.1%**と低調な実績であった。

2. 輸送実績

（単位：千ト、%）

種別	平成19年度		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	23,417	23,184	101.0%
車扱	12,781	13,432	95.1%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千ト、%）

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	2,410	2,281	129	105.7%
	化学工業品	2,234	2,229	5	100.2%
	化学薬品	1,668	1,705	-37	97.8%
	食料工業品	3,380	3,376	4	100.1%
	紙・パルプ	3,771	3,835	-64	98.3%
	他工業品	1,768	1,661	107	106.4%
	積合せ貨物	2,534	2,557	-23	99.1%
	自動車部品	838	712	126	117.7%
	家電・情報機器	398	404	-6	98.5%
	エコ関連物資	373	407	-34	91.6%
	その他	4,039	4,013	26	100.6%
	コンテナ計	23,417	23,184	233	101.0%
車扱	石油	8,232	8,611	-379	95.6%
	セメント	707	877	-170	80.6%
	石灰石	797	749	48	106.5%
	車両	1,412	1,472	-60	95.9%
	その他	1,620	1,723	-103	94.0%
	車扱計	12,781	13,432	-651	95.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）